

8月11日

## 修院長おとめクララ

Clare of Assisi

(1194-1253)

～クララ女子修道会創始者～

クララはイタリアのアッシジで、貴族の長女として生まれました。彼女は敬虔な両親によって、信心深く育てられます。そして18歳のとき、同じ町の聖フランシスコによる四旬節の説教を聞き、心を動かされた彼女は家を抜け出し、フランシスコに従って、修道女となりました。しかしフランシスコ会にはまだ女子修道会がなかったため、しばらくの間、ベネディクト会の女子修道院で暮らしました。その話を聞いて驚いたクララの家族は、懸命に彼女を家に戻らせようとしたのですが、彼女は意志を貫きました。さらにクララの妹、アグネスも数日後に修道院に入ったそうです。

やがて、彼女といっしょに修道生活を望む女性たちが集まってきたため、クララは新しく、フランシスコの指導のもとにサン・ダミアノで女子修道会（第二会）を創設しました。その時まで女子修道会では行なわれていなかった厳しい生活を義務付け、いつも裸足で、肉は一切食わず、非常に長い沈黙の時を守りました。そして彼女の母を含む親族も彼女の修道院に入り、修道会はどんどん発展し、広がっていきました。

クララは修道院長になりましたが、そのあともつつましく、また



「聖クララ」

By シモーネ・マルティナーニ (1312-20)

フレスコ画

聖フランシスコ大聖堂

イタリア、アッシジ

目下の修道女たちに対しては、まるで母親のように振舞っていきま  
す。1224年頃から死に至るまで、クララはほとんど時間を病床で  
過ごしますが、その清貧、貞潔な生涯は多くの人々の感嘆的とな  
りました。特に聖体に対する愛は、彼女の一つの特徴であったとい  
います。

1240年には、イスラム教徒がアッシジの町とその城壁の外にあ  
ったクララの修道院を襲撃するという事件が起こりました。その際、  
クララは病床にあったにもかかわらず、聖体をささげて兵士たち  
の方へ向けたところ、兵士たちは恐れおののいて一目散に逃げ去  
ったため、アッシジの町と修道院を守り抜くことができたとい  
います。

1255年、クララはアレクサンデル4世によって列聖されます。  
その彼女の肖像画には、会則書、ユリ、十字架、聖体器、聖体顕  
示台などが添えて描かれています。

### <特禱>

**全能の神よ、あなたの恵みによって聖霊の愛の炎をその心に燃や  
した修院長おとめクララは、公会の燃えて輝く光となりました。ど  
うかその信仰と愛によってわたしたちを燃え立たせ、光の子として  
常にみ前を歩ませて下さい。主イエス・キリストによってお願い  
いたします。**

アーメン